

令和５年度第１回水戸市社会福祉審議会高齢福祉専門分科会会議録

1 附属機関の会議の名称 令和５年度第１回水戸市社会福祉審議会高齢福祉専門分科会

2 開催日時 令和５年７月１２日（水）午後１時００分～午後１時４５分

3 開催場所 水戸市役所４階 中会議室４

4 出席した者の氏名

(1) 水戸市社会福祉審議会高齢福祉専門分科会委員

細田弥太郎，田澤重信，中島貞子，伊藤正，小泉直紀，折笠慶子，青山道隆，矢野倉栄，安藏秀彦，川又一郎，岩間けい子，島田弘子，豊田光恵，池田清美，土屋和子，鬼澤真寿，藤澤康彦，梅井尚美，杉下赫子

(2) 執行機関

田中誠一，小林かおり，高橋慎一，平澤健一，雲藤陽子，鯉渕紀子，櫻井憲男，春日剛，鶴田和也，新妻聡，荻沼泉，宮澤貴子，大谷明寛，古橋卓也，小林真由美，高久純，寺門孝太，寺門義業

5 議題及び公開・非公開の別

(1) 報告事項（公開）

- ・水戸市第９期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定基本方針について
- ・計画の進捗管理（事業評価）について

(2) その他（公開）

6 非公開の理由 適用なし

7 傍聴人の数（公開した場合に限る） ０人

8 会議資料の名称

- ・水戸市第９期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定基本方針
- ・2022（令和４）年度実施事業評価（一覧）
- ・2022（令和４）年度実施事業評価（個票）
- ・参考資料１ 介護保険事業等の実施状況について（令和２年度～令和４年度）
- ・参考資料２ 第８期計画における進捗状況について（令和３年度～令和５年度）
- ・諮問書（写し）

9 発言の内容

【司 会】

それでは、定刻になりましたので、ただいまから、令和5年度第1回水戸市社会福祉審議会高齢福祉専門分科会を開催いたします。

はじめに、開会にあたりまして、田中福祉部副部長より御挨拶を申し上げます。

【副福祉部長】

福祉部副部長の田中でございます。

本来ですと、部長の小林がまいりまして御挨拶申し上げるところでございますが、所用により出席が叶いませんので、部長に代わりまして御挨拶申し上げます。

本日は、委員の皆様には大変お忙しい中、令和5年度第1回水戸市社会福祉審議会高齢福祉専門分科会に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、日頃から本市の高齢者福祉事業、介護保険事業の推進に格段の御協力・御支援を賜っておりますこと、この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

高齢福祉専門分科会につきましては、水戸市社会福祉審議会の専門分科会の一つであり、高齢者の福祉に関する事項を御審議いただくものであります。

現行の第8期水戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画が今年度末をもって満了することから、お手元に配布しております諮問書のとおり、令和6年度から令和8年度を計画期間とする第9期計画策定のための御審議をいただきたく存じます。

今後、より一層の高齢化が進む中、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で可能な限り自立し、健康な生活を送ることが出来るよう、地域の実情に応じた「地域包括ケアシステム」を構築し、さらに深化・推進していくことが重要であると考えております。

本日は、次期計画の基本方針の内容と現計画の令和4年度の進捗状況等について御報告させていただきます。委員の皆様には、忌憚のない御意見をいただければと思っております。

限られた時間ではありますが、どうぞよろしくお願い申し上げまして、簡単ではございますが、開会にあたっての御挨拶とさせていただきます。

【司 会】

この審議会は、水戸市社会福祉審議会条例に基づいて設置しております。条例につきましてはお手元に配布してございますので、後程お目通し頂ければと思います。

まず、はじめに、本日の協議会の定足数の確認でございます。審議会条例第6条第2項の規定では、委員の2分の1以上の出席で会議が成立することとなっております。本日は19名の方に御出席をいただき、定足数を満たしておりますので、御報告いたします。

次に、新しく委員に就任された方の委嘱でございます。このたび、議員・役員改選等によりまして、新たに4名の方（____委員、____委員、____委員、____委員）に委員をお引き受けいただくこととなりました。新たに委員に就任された方には委嘱状を事前に送付させていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

それではここで、今年度新しく委員に就任された方から御挨拶を頂きたいと存じます。____委員から、右回りで、一言ずつ自己紹介をお願いしたいと思います。

(委員自己紹介)

【司 会】

ありがとうございました。続きまして、当専門分科会の副会長の選任に移らせていただきます。現在____前副会長が役員改選による退任のため、副会長が空席となっております。審議会条例第7条第4項の規定により、委員の互選によることとなっておりますが、いかがいたしましょうか。

(事務局一任の声あり)

【司 会】

ただいま、事務局に一任との御意見がございましたが、事務局（案）を提示させていただくことでよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

【司 会】

それでは、事務局案を御提示申し上げます。

当専門分科会の副会長につきましては、水戸市民生委員児童委員連合協議会の____委員にお願いしたいと考えております。本案でよろしければ、拍手をもちまして御承認をいただきたいと存じます。(拍手あり)

【司 会】

ありがとうございました。御承認をいただきましたので、副会長は____委員にお願いいたします。それでは、前の席へお移りください。

(副会長は席を移動)

ここで、副会長より改めて一言御挨拶をいただきたいと存じます。____副会長、よろしくお願いいたします。

【副 会 長】

この度、副会長を引き受けることになりました民生委員の____です。民生委員の経験はありますが、会議は新人ですので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

【司 会】

ありがとうございました。

次に、資料の確認をお願いいたします。

「本日の会議次第」「水戸市社会福祉審議会高齢福祉専門分科会委員名簿」「水戸市社会福祉審議会条例」「水戸市第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定基本方針」「2022（令和4）年度実施事業評価（一覧）」「2022（令和4）年度実施事業評価（個票）」「参考資料1 介護保険事業等の実施状況について（令和2年度～令和4年度）」「参考資料2 第8期計画における進捗状況について（令和3年度～令和5年度）」「諮問書（写し）」「水戸市第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」「令和5年度版お年寄り便利帳」

資料につきましては、以上でございます。不足等ありますでしょうか。

また、本日は、後に予定等がございまして、1時間程度の会議となるよう御協力をお願いいたします。

それでは、続きまして、議事に入ります。議事進行につきましては、審議会条例第7条の規定により、会長が議長となることとなっておりますので、会長より議事進行をお願いいたします。

また、御発言の際には、マイクをお回しいたしますので、挙手をお願いいたします。

【会 長】

ただいま、事務局のほうから説明がありましたとおり、審議会の議事は会長が進めることになっておりますので、議長を務めさせていただきます。スムーズな議事進行ができますよう、皆様方の御協力をお願いいたします。失礼ながら、議事は着座のまま進めさせていただきます。

議事に入ります前に、この委員会は、「水戸市附属機関の会議の公開に関する規程」により公開することとなっておりますので、その旨、御承知おきいただきたいと思います。

また、同規程第7条により、審議会の会議録を作成し、2名の方から署名をいただくこととなっております。本日の会議録の署名人につきましては、____委員さんと____委員さんをお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、議事に入ります。本日の議題は3件でございます。

まず、はじめに、(1) 水戸市第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定基本方針について、事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

【会 長】

ただいま、事務局から説明がありましたが、御質問等がありますでしょうか。ありましたら、挙手をもって御発言願います

(質問なし)

【会 長】

それでは、(1) 基本方針については、よろしいでしょうか。ありがとうございました。

続きまして、(2) 計画の進捗管理について、事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

【会 長】

ただいま、事務局から説明がありましたが、御質問等がありますでしょうか。ありましたら、挙手をもって御発言願います。

【____委員】

基本的なことを確認したいのですが、ABCの評価をするのは執行部なのか、それともこの委員会の委員が評価するのでしょうか。

【執行機関】

執行部で評価を行っています。評価のAにつきましては目標を達成している。Bにつきましては、目標を達成していない部分もあるが、昨年から増えている、あるいは制度上目標に達することが難しいもの。Cは目標に達成しておらず改善を要するものとしております。

【____委員】

執行部で事業を計画し、実行し、評価すると地域住民や専門分科会の意見が反映されず報告するのみになってしまうと思いますので、評価システムについては再考されると良いと思います。

【執行機関】

今後計画策定を進める中で、評価についてもどのようにするのかを検討してまいります。

【___委員】

8 ページの認知症サポーター養成講座を中学校で開催していることは承知しております。養成講座を中学校で実施して、中学生の感想をとらえているのでしょうか。

また、17 ページの在宅医療・介護連携の推進ということで、地域住民への在宅医療の普及啓発の実施回数昨年度 83 回は素晴らしい評価だと思います。具体的にはどのような形で実施されたのかを伺いたい。

【執行機関】

中学生の感想ということですが、一律のアンケートではありませんが中学生の感想をもらっています。感想としては、「認知症という言葉を知っていたが、内容について知ることができた」「認知症の方に対して、どのように接した方がいいのか学ぶことができた」。身近に認知症の方がいる中学生からは、「対応の方法を知っていれば違う対応ができたのではないかなど、中学生の気づきに繋がっております。

2 つ目の地域住民への在宅医療の普及啓発については、市内 8 か所に設置しています高齢者支援センターが実施した事業の実施回数となります。内容を例示しますと、住民の方を対象に在宅医療を知ってもらうために、在宅訪問診療を行っている医療機関の先生による講座の実施、人生の終末期について考える機会をつくるために、VR を活用した講座を実施するなど、それぞれのテーマで実施しております。

【___委員】

人としてどう向き合っていくか、健康の方もいつか高齢者になり、不慮の事故で障害者になることも考えられる。健康なうちにいろいろな人がいるということを学ぶことによって、自分にできることがあるという気持ちを中学生のうちから持たせることができるということは、水戸市を支える人を育てることになるので、若い人や家庭を支えている方々を含めて、たくさんの学ぶ機会を行政として提供してもらうことが水戸市にとって大事だと思うので、継続的に実施をお願いしたい。

【___委員】

16 ページの介護人材の確保については、現実的に連絡会で各施設が集まると若い人材不足の話題が出てくる。水戸市内の事業所で介護人材の人数が 2021 年、2022 年とどれくらい増えているのか、減っているのかというのがわかると有難い。今後どのようなことをして、人材を確保してサービスが続けられるかという問題があるので、事業所と一体となって市の方と考えていきたいと思いますので、具体的をお願いします。

【執行機関】

介護人材の確保については、何年間も足りないということで課題となっているところです。毎年度介護人材の確保に関する事業所実態調査を行っているところで、毎年ホームページにアップしております。人材が足りないという事業者は多いことは承知しておりますが、計画には介護人材の定着ということでセミナーを開催したり、介護助手養成講座を協働事業で 3 年間実施し、約 20 名が介護助手として施設で働いている状況です。このような取組をこつこつと行うほか、9 期計画においては皆様からの御意見を伺って具体的に反映していきたいと思います。

【会 長】

その他ありますでしょうか。

(質問なし)

【会 長】

それでは、(2) 計画の進捗管理については、よろしいでしょうか。

それでは最後に、(3) その他について事務局からお願いします。

【執行機関】

それでは、その他として事務局より、次回のスケジュールについて御連絡させていただきます。次回は8月29日(火)午後2時30分から同じこの会議室での開催を予定しております。詳細につきましては、後日改めてお手紙で通知させていただきますので、よろしくお願いいたします。

その他については以上でございます。

【会 長】

それでは、本日の審議会はこれで終了いたします。限られた時間の中で、皆様の御協力をいただき、スムーズに進めることができました。ありがとうございました。次回も引き続き、よろしくお願いいたします。

【司 会】

それでは、委員の皆様には、大変お忙しいところ御出席をいただきまして、誠にありがとうございました。以上をもちまして、令和5年度第1回水戸市社会福祉審議会高齢福祉専門分科会を終了いたします。お疲れ様でございました。